

2021
年

建築文化週間 講演会(中国支部) 「気候変動から広島 の建築・まちづくりを考える」

(重要有形文化財「江波山気象館」の見学あり)

10月23日  12:30-14:50

会場：広島市江波山気象館（広島県広島市中区江波南1-40-1）

地球温暖化に伴う気候変動が進み、各方面での影響が懸念される中で、広島における気候変動の影響の現状を学び、建築・まちづくりでの対応（特に適応）を考える機会としたいと思います。また被爆建物であり重要有形文化財である江波山気象館の見学をあわせて行います。

司会：横山真（日本建築学会中国支部環境工学委員会、福山市立大学）

12:30～13:15

江波山気象館文化財建物見学会（解説15分・自由見学30分）

13:15～13:20

講演会開始・主催者挨拶

1

13:20～13:35

「広島気候は変わったのか」 講演：脇阪伯史（広島市江波山気象館）

2

13:35～13:50

「気象データに見るまちの暑さの変化」 講演：中山哲士（岡山理科大学）

3

13:50～14:05

「近年の広島県における洪水被害の特徴と課題」 講演：内田龍彦（広島大学）

4

14:10～14:25

「広島は気候変動とどう向き合うのか」 講演：中村好宏（広島県環境政策課）
（地域気候変動適応計画の紹介）

5

14:25～14:40

「気候変動と向き合う建築」 講演：宗像雅充（熊野町建設農林部）
（熊野東防災交流センターの事例紹介）

6

14:40～14:50

「まとめ（建築・まちづくりと気候変動）」 講演：田中貴宏（広島大学）

主催

日本建築学会中国支部（<https://chugoku.aij.or.jp>）
広島市江波山気象館（<https://www.ebayama.jp>）

申込
方法

左のHPよりお申込み
下さい。（定員50名）